

航空レーザセミナー2014 in 札幌 開催報告 ～高精度な三次元データが創り出す新たな可能性!～

測技協は平成26年12月5日に札幌コンベンションセンター204会議室において航空レーザセミナー2014 in 札幌を開催いたしました。

航空機などに搭載したレーザ装置を使用して、地形や地物の高精度な三次元データを取得する航空レーザ測量は、今日、基幹的な地理空間情報や防災・環境のシミュレーションのための微地形や植生データの取得などに広く使われています。

本セミナーでは、最新の航空レーザの動向を報告するとともに、その計測手法、特徴、データ処理・解析技術及び様々な利活用事例を解説しました。基調講演では、北海道大学大学院笠井准教授より、砂防分野から見た航空レーザ測量が示す可能性について、様々な角度からの紹介がありました。パネルディスカッションでは、航空レーザデータの空間情報としての役割や課題、今後の可能性を整理するとともに、会場との意見交換を行いました。また、測技協開催セミナーで初めての試みとして、ツイッターを用いてリアルタイムにセミナー内容の情報発信と意見交換を行いました。

なお、測技協レーザWGでは、2015年11月6日に広島にて航空レーザセミナー2015 in 広島を開催します。

■開催概要

日 時：平成26年12月5日(金) 10:00～17:00

場 所：札幌コンベンションセンター204会議室

主 催：公益財団法人日本測量調査技術協会

航空レーザセミナー2014 in 札幌実行委員会

後 援：国土交通省国土地理院

一般社団法人日本写真測量学会北海道支部

北海道GIS・GPS研究会

参加者：117名(参加証明書68名発行)

技術セミナー：5件の報告

基調講演：『砂防分野から見た航空レーザ測量が示す可能性』

北海道大学大学院 笠井美青 准教授

パネルディスカッション：

・テーマ1：航空レーザデータ利活用の実際

・テーマ2：航空レーザの将来展望

・登壇者：笠井准教授、西原主任研究員(寒地土木研究所)、布田氏(株)シン技術コンサル) 他

その他：測量CPD、設計CPD対象プログラム



第5回日韓ライダー計測シンポジウム 開催報告

(5th Republic of Korea and Japan LiDAR Survey Symposium)

測技協は平成 26 年 8 月 27 日、韓国ソウル Coex 3階 307-A 会議室において第5回日韓ライダー計測シンポジウムを開催しました。本シンポジウムは、8 月 25 日～27 日開催の「Smart Geospatial Expo 2014」の関連イベントとして開催され、基調講演、両国からのリクエストテーマの技術発表及び第4回シンポジウムで好評であったディスカッションの形式で実施されました。

■開催概要

日 時：平成 26 年 8 月 27 日(水) 10:00～17:30

場 所：韓国ソウル Coex 3階 307-A 会議室

主 催：韓国測量学会

公益財団法人日本測量調査技術協会

主 管：第 5 回日韓ライダーシンポジウム組織委員会、

ソウル市立大学空間情報研究センター

後 援：韓国国土地理情報院、大韓測量協会、

韓国空間情報産業協同組合、韓国空間情報学会

参加メンバー：韓国側参加者 60 名

日本訪韓団 22 名

使用言語：発表(逐次通訳)、資料および PPT(日本語・韓国語の相互訳)

その他：測量 CPD 対象プログラム



第5回日韓レーザーシンポジウム主要メンバー

■プログラム

10:00～10:30	開会式	司会：Choi, Yoon-Soo 教授
10:00～10:30	開会の挨拶：韓国測量学会 会長 Heecheon YUN 日本測量調査技術協会 常任理事 斎藤 和也	
	祝 辞：韓国国土地理情報院 課長 Haeik JUNG 韓国空間情報産業協同組合 理事長 Youngkyu JANG	
	歓 迎 辞：大韓測量協会 会長 Myungsik LEE	
10:30～11:50	基調講演	司会：Choi, Yoon-Soo 教授
	韓国の数値標高モデル (DEM) の構築現状と未来	国土地理情報院空間映像課 主務官 Dongtaek LEE
	日本の空間情報技術と将来像	アジア航測 フェロー 住田 英二
11:50～13:30	休息・昼食	
13:30～15:00	セッション1：主題発表	司会：Honggi PARK 教授
	3次元室内空間情報構築及び活用手法	Hyungsu KIM / 国土交通省 Soonmyoung AHN / 中央航業
	国家関心情報 (POI) の現状と活用	Hyunhee JOO / 国土地理情報院 Chanoh KWON / セハン航業
	日本の航空レーザー測量の活用事例と災害時における緊急撮影体制	横尾 泰広 / 国際航業 滝澤 昭博 / 北海航測 横溝 和則 / 朝日航洋
15:00～15:20	Coffee Break	
15:20～17:20	セッション2：ディスカッション	司会：金 宗煥 技師 アジア航測株式会社
	テーマ1：ALB(Airborne Laser Bathymetry)	